

樹木希林さん 直筆の手紙

“はてしのない道のり” 魂の言葉より

10月11日(木)に人権教育校長講話を行いましたので、下記のとおり紹介させていただきます。
樹木希林さんは、全身がんに蝕まれながらも、生涯女優を貫いたままこの世を去りました。病と闘いながらも、気高く、そして美しく生きようとする彼女の姿に多くの人が魅了され、亡くなってから10日後の9月25日(火)に、NHKのクローズアップ現代+で樹木希林さんの特集番組が組まれました。

その特集番組のタイトルは、『樹木希林さん 直筆の手紙 “はてしのない道のり” 魂の言葉』でした。校長先生も見ましたが、75歳で亡くなった女優の樹木希林さんが、生前、実は多くの一般人に毛筆で書いた手紙を送り続けていました。その中で、2年前、樹木希林さんが「いじめ」をテーマにつづった手紙が取り扱われました。手紙を受け取った方は中島啓幸さん。

中島さんは仕事のかたわら、子どものいじめをなくす活動に取り組んでいます。6年前、ファンイベントをきっかけに樹木希林さんと知り合い、互いの家を行き来するなど交流を続けてきました。実は中島さん、中学生のころ、激しいいじめを受けた経験がありました。その話をしたところ、樹木希林さんも芸能界に入り、いじめたことやいじめられたことがあったと明かしました。樹木希林さんに、いじめについてメッセージを書いてほしいと頼んだとき、中島さんの目の前で、がんから来る痛みにも耐えながら、一筆一筆、命がけで3時間掛けて手紙を書き上げました。この手紙です。

『ひとりひとり違って生まれる 当然 差別がある いじめはちがいがら起きる わたしも人はいじめたし いじめられたし それを亡くそうたって一ねえ はてしのない道のりです 樹木希林 追伸 じゃあさ 皆で同じ形のロボット人間に — それじゃ つまりませんネ』

中島啓幸さんは、「樹木希林さんは丸裸の自分を見せていますよね。いじめをしたとはっきり言っていますから。包み隠さず、本当に真実で、うそを言わないで生きている人だ。いじめについて、きれいな事ではない、まっすぐな言葉が心に響きました。絶対にいじめはなくなならないけれども、こつこつ続ければ何かしら変化が起きる。そのことを大事にしてください。いじめをなくすのは長丁場だねと」

この夏、中島さんは北海道旭川市内の中学校すべてに、樹木希林さんからのメッセージを配りました。御代田中学校の生徒の皆さんは、樹木希林さんのメッセージをどう感じたのでしょうか？

学校長 勝見 藤一

資源回収・PTA バザーのお礼

中学校の資源回収、雪窓祭2日目のPTAバザーでは、保護者の皆様をはじめ、地域の多くの皆様にご協力をいただきました。お陰様で資源回収では229,990円、PTAバザーでは132,395円の収益を上げることができました。

PTAバザーでは、生活雑貨、衣類、食料品など、地域の皆様より多くの物品をご提供いただきました。御代田の新鮮な食材(ネギ・レタス・キャベツ・カリフローレ、お米など)をお買い求める方も多く、すぐに売り切れてしまいました。

また、御代田町や小諸市の企業様よりお漬物、菓子、味噌、お惣菜、はちみつをご提供いただきました。バザー開始時刻前より楽しみにお並びいただいたお客様もあり、大盛況のうちに終了しました。

これらの売上金は、例年通り本校生徒の教育活動に活用させていただきます。

皆様方のご協力に

心より感謝申し上げます。



あさまやま

御代田中学校便り

平成30年度 第四号

2018年

11月26日

11月の主な行事

※人権教育月間

※各部東信新人戦

※生徒会役員選挙教室
訪問

13~19日 学校開放週間

19日 町連合PTA講演会

21、22日 期末テスト・
3年総合テスト④

27日 生徒会役員選挙

立会演説会・投票

12月の主な行事

3日 中学校体験入学

6~13日 保護者懇談会

20日 生徒総会

27日 2学期終業式

学校目標

美しく

雄大な

浅間山に学ぶ

第58回 雪窓祭 閉幕

開催日
テーマ

9月21日(金)・22日(土)

「A moment's memory」～一度きりの瞬間を仲間と共に



雪窓祭推進正副委員長と生徒会役員



学習の成果を見合いました



吹奏楽の公演は、演奏、パフォーマンスとも見事!



雨雲はないとの天気予報でしたが…雨の中精一杯走りました



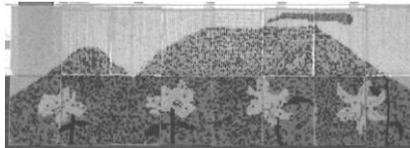
堂々とした演劇部発表



美術部のみなさん
ステージバックをありがとう!



庄巻の3年生の合唱!!



ペットボトルキャップで作った全校製作



軽音楽部の演奏に前のめりの生徒



全校での記念撮影

一度きりの瞬間を
かけがえのない瞬間を
仲間と共に
つくり上げた瞬間を

ありがとう!!

両角友佑さんによる町連合PTA講演会開催

11月19日、講師として、カーリング日本代表チームで、平昌五輪8位入賞を果たした、両角友佑さんをお招きし、「夢への歩き方」と題してご講演いただきました。

～夢への歩き方は、「過去を見る」(自分自身が何をどれくらいやりどうだったのかについて自分と向き合い)、「現在を知る」(正確な目標設定をして今の自分と向き合い)、「未来を創る」(ゴールを見失わない自分と向き合う)こと。夢へ向かうとは新しい現在を創り続けることです。

心に残っている言葉・・・①偶然を引き寄せる(偶然が寄ってくるくらい努力を続けることが大切)、②迷ったら、勇気が必要な方を選ぶ(勇気のある選択で手に入るものは自分にとって必要なもの)です。～

現在新たに大きな選択をし、来シーズンに向けてチームづくりをし、再びオリンピックをめざす両角さん。勇気のある選択をしようとしていますとのお話もありました。今後私たちにも、勇気が必要で、苦勞だと分かる選択肢が自分に迫る場面があるでしょう。苦勞の道を選択するには覚悟が必要です。覚悟のある選択、覚悟のある生き方、とてもカッコいい生き方を学びました。両角友佑さんありがとうございました。

